

次世代人材育成推進事業

現状

- ✓ AIやIoTを使いこなす人材の不足や、変化の激しい社会に対して、探究して問題解決する力が不足
- ✓ てんこうの共同開発、ISTSやスペースポート開港等、県内における宇宙関連産業の需要増加に伴い、人材育成が必要
- ✓ 理科や数学を学ぶことに対する関心・意欲や意義・有用性に対する認識が小中に比べて高校生は低い

課題

先端科学技術を活用し社会で活躍できる次世代人材の育成



取組

挑戦意欲の醸成 (対象: 高校1、2年生 200名程度) 学校の枠を超えた取組

○ STEAMフェスタ (R5.7月)

【挑戦意欲の醸成】・STEAM講座 ・企業・大学との連携講座

【スタートアップ】

以下のプログラムの説明
・課題研究 ・オンライン探究講座

○ STEAM探究課題研究講座 (R5.7月～R6.1月)

1) エネルギー探究部門

・「脱炭素」に向けた水素エネルギーに関する研究 など

2) 地域課題探究部門

・災害時における水の確保や利用方法に関する研究 など

3) 宇宙技術部門

・宇宙空間における衛生環境改善(脱臭・汚れ防止) など

【スキーム】

- ・5人×10班で年間通じた研究を行なう
- ・STEAMアンバサダー(企業、大学職員等)が研究を支援
- ・企業・大学訪問+遠隔会議等を活用して研究を進める
- ・JAXAへの宿泊研修や、SPACEPORT関連企業等へのインターンシップを行い、宇宙開発に関する知識や技術を習得



オンライン探究講座

(R5.9月, 12月の計2回)

- ・エネルギー関連講座
 - ・宇宙講座
- ※JAXA, 大学, 地元企業等



○ 宇宙と科学の高校生シンポジウム(SSHS) (R6.2月)

・課題研究講座や各校の総合的な探究の時間の発表等、参加生徒等による合同成果発表会

※大分市内ホールで開催し、小中学生や一般へ広く公開

新・先端技術を活用した学びの推進(VR・AR・メタバース等を用いたイベント)



- STEAM教育推進コーディネーターの設置(企画・立案・進捗管理)
- 生徒の研修に係る参加費・旅費・バス代等
- 特設HPでの講演配信や、教員向けに情報共有・事例紹介発信等

探究的な学びの充実

○ 「大分県探究ライブラリ」の構築

新時代の学びを支えるICT活用推進事業 ※デジ室予算

1) 「探究的な学び」のデータベース化

総合的な探究の時間や、各教科での探究的な学びの成果(作品)を収集し、生徒や教員が自由に閲覧できる「大分県探究ライブラリ」構築



⇒ 学校や教科、テーマごとにデータベース化
⇒ 1人1台端末で作品の閲覧が可能

2) 大分県探究コンテストの実施

課題枠・自由枠を設定し、作品募集を行なう

⇒ 優秀作品はSSHSで発表。

※初年度はライブラリの構築及び普通科系高校を中心に展開全県的な探究ライブラリの構築を目指す

○ 探究的な学び実践講座 (教員・オンライン)

・STEAM探究指導研修 ・探究推進協議会

○ 未来の地球学校 (未来へつなぐ学び推進事業)

国内外の学校と連携した探究共創ネットワーク(学びの共有・対話・協働による創造)

- ・アート×プログラミング×探究的な活動
- ・科学×プログラミング×探究的な活動